

広

報

しべつ

1

1996

No. 347

萌える海と大地 さわやか交流郷



今年は「ねばりづよ〜く、がんばりまチュウ」

(12月13日、北標津ひまわり保育園・もちつきより)

賀 春

本年も「広報しべつ」を

よろしくお願いします。

謹んで新春の

ごあいさつを申し上げます

標津町長

小田桐 四郎

町民の皆様、明けましておめでとございます。輝かしい平成八年の新春を町民の皆様とともに健やかにお迎えできますことを心よりお慶び申し上げます。

昨年中は町政各般にわたり、町民の皆様から寄せられました格別なるご支援とご協力に心よりお礼を申し上げます。

さて、平成七年を振り返ってみますと、年明け早々からあの未曾有の惨事を招いた阪神大震災に始まり、成熟した社会のひずみ現象ともいえるオウム真理教による無差別テロの反国家行動、そして「いじめ」による中学生の自殺が後を絶たないなど、政局不安による景気の不透明感に相まって社会不安が増幅し、人心に暗い影を落とした一年であったように思われます。

また、道内にあっては四月の統一地方選挙で堀道政が誕生し、政治の新しい流れが期待されたところではありますが、自治体による官接待などの問題で役所における公金支出の在り方が世間の批判にさらされるなど大きな行政不信を招いたところであります。

このように混乱する社会

中で、本町の基幹産業であります農業にあっては、不安な前途の中で、ガット・ウルグアイ・ラウンド元年を迎えたところであります。が、府県酪農の衰退など側面的な要因がありますが、関係機関と生産者各位の努力が功を奏し生乳生産・農業販売額ともに増加を見ており、比較的安定した状況の中でスタートできました。しかし、漁



標津町長 小田桐 四郎

構造的な課題が内包しており、農業・漁業ともに生産者、関係団体、行政が一体となって基盤強化を図る中で、より厳しい体質改善と経営安定化の努力が求められております。

一方、地域活性化の期待を込めて標津漁協が事業主体となり国内初の試みとして取り組んだ忠類川サケマス有効利用調査事業であり

査事業参加者の町内宿泊が延べ五百人に達するなど地域への経済効果もあり、当初の狙いでありました地域活性化に大きく貢献されたものと考えております。

明けて平成八年も地域を取り巻く環境は非常に厳しいものがありますが、二十一世紀を間近に控えた今、新しい時代の流れを見誤ることなく、町民の皆様の英知を結集して将来を見据えたまちづくりに積極・果敢に取り組む、着実な前進を図らなければなりません。

本年は、この三月に待望の生涯学習センター『あすばる』が完成し、社会教育環境の充実が図られることになり、また、高齢者福祉の拠点施設となります保健と福祉サービスの機能を併せ持つ保健福祉センター（仮称）と快適な居住環境を築くための川北市街地区の下水道が本年度から建設に着手されることから社会生活基盤が着々と進行をみております。

また、今日的にまちづくりに寄せる町民の意識は『物の豊かさから心の豊かさ』を求めていることから、人々との心のふれあいを大切にしたい潤いとやすらぎのあるまちづくりの諸施策の展開に積極的に取り組んでまいります。

今後とも、今日ある本町の礎を築かれた先人の偉業に感謝するこ

業にあっては、基幹魚種である鮭・ホタテともに価格が低迷し、鮭定置漁にあっては史上最高を記録した漁獲量に支えられて全体的には、ほぼ昨年並みの漁獲高が確保されましたが、漁場間に相当の漁獲格差が生じるなどの新たな問題を抱え、漁船漁業にあってはホタテの資源不足から漁獲高の低下を本年に限っていえばウニ・ホッキ漁によりカバーされるなど依然として

ますが、昨年十二月十日で終了し、その間、遠くは関西・四国方面から延べ四千四百人の方々の調査事業への参加をいただきました。参加者のアンケート調査から、釣果・忠類川の釣り場環境など事業全般に高い評価を受けるとともに豪快なスポーツフィッシングの醍醐味が相当数のマスコミの全国ネットで紹介され、標津町・忠類川の知名度は全国区となり、また調

とを忘れることなく七千町民の幸
せを願ひ、人とまちが生き生きと
輝く『標津町』の創造に全力を尽
くしてまいる所存でありますので、
より一層のご支援・ご協力を町政
伸展のためにお寄せ下さいますよ
うお願い申し上げます。

年頭にあたり所信の一端を申し
述べ、町民の皆様にとりまして最
良の年でありますことをご祈念申
し上げまして新春のごあいさつと
いたします。

標津町議会議長

荒谷 良治

町民の皆様、明けましておめで
とございます。新春を皆様とと
もに迎えるにあたり町議会を代表
して新年のごあいさつを申し上げ
ます。

顧みますと、平成七年は国の内
外ともに多事多難な年であり、特
に世界的不況の嵐が吹き荒れて、
その余波は資源の乏しい我が国に
も及び深刻な経済不況となつて少
なからず私共の生活をおびやか
しており、先行き不透明な状況が続
いております。

これからはバランスのとれた安
定成長をしていくために、無理や
無駄を省き、先見の目といち早い
情報をキャッチし、環境に適応し

たより堅実な生活意識がめられ
るものと思っております。

明けて一昨年の東方沖地震で本
町の下水道をはじめ、道路や港な
ど大きな被害をこうむり、厳しい
冬を迎えて応急的な処置で対応し
て正月気分も抜けない昨年の新年
早々の一月十七日、地震のない安
全地帯といわれていた阪神地方に
早朝大地震が起き、テレビ映像に
映る悲惨さに恐怖を感じたわけで
近代技術で建設された高架橋や高
層ビルが倒れたりつぶれたり、家
屋が倒壊し、火災が発生して死者
五千五百人という大惨事となり、
その後も日本列島各地で震度の大
きい地震が続いております。

昨年十月四日、全町あげての防
災訓練が陸上自衛隊や海上保安庁
の協力もいただいて本番さながら
に執り行われました。

実際直面した場合には突発的な
予想もしないことや悪条件に遭遇
することも考えられ、そのような
時に落ち着いた行動やお互いに協
力ができるようになるためには、
日頃の心がけとやはり訓練の積み
重ねが解決してくれるように思わ
れます。

本町の基幹産業である農業・漁
業においては年々厳しさを増して
きており、酪農情勢は乳価の据え
置き、個体価格の低迷、生産抑制

などでの収益の低下に加え、ガッ
ト・ウルグアイ・ラウンドの合意
による自由化など困難な経済状況
下にあります。漁業では円高を背
景に輸入水産物の急増により、国
内の魚価を圧迫しており、鮭は全
般的に予想回帰を大幅に上回り本
町も史上一番の豊漁で一万八千ト
ンと日本一の座を守るも、価格破
壊とまでいわれる最悪の事態とな



標津町議会議長 荒谷 良治

本「生涯学習センター」が七月
の開館を目指して工事が順調に進
められており、すでに外観が現わ
れております。六百人収容の多目
的ホールをはじめ、生涯学習に必
要な機能が整備され、有効利用が
待たれるところです。全国より公
募していた愛称も福岡県の主婦の
「あすばる」と決まりました。
「健康と福祉の村」も計画どおり

り量は伸びるも生産額は伸びず生
産者自ら付加価値を高めるため、
労働力提供や消費流通の面でも積
極的に開発に乗り出し、経営安定
のため努力をしております。

国においてもようやく魚価対策
の検討会を設置したが、食糧産業
としての抜本的な政策が急務であ
り、農漁業ともども基盤整備して
充実した産業としなければならま
せん。

進展、本年は保健福祉センター(仮
称)が着工されることになって、在
宅介護、訪問看護の拠点として医
療、福祉、保健の連携した総合施
設として、町民の健康管理や高齢
化社会に充実した対応が図られる
ものと思います。

議会といたしましても住み良い
まちづくりのため、町民の代表と
して議決機関の機能を最大限に発
揮し、町民の皆様のご期待に添う

よう努力してまいります。

どうか本年も一層のご支援とご
協力をお願い申し上げますとともに、
平成八年が町民の皆様にとりまし
て幸せな年でありますことをご祈
念申し上げます、新年のごあい
さつといたします。



個人7人が 喜びの受賞

～平成7年度標津町表彰式～

平成七年度標津町表彰式が十一月二十二日、町農村環境改善センターで開かれました。

この表彰式は、本町の経済・社会・福祉・教育・文化などの発展に顕著な功績のあった個人や団体に対し、町表彰条例に基づき表彰状を贈り、その功績をたたえるものです。

今年度は功労者四人、優良勤労者三人を表彰、また三十年間町税納期完納者に感謝状が贈られました。

受賞者の方々を紹介します。

産業功労賞



狩野洋三さん (71)

昭和54年より16年間の永きにわたり、商工会役員を歴任。地域商工業の振興と社会一般の福祉の増進に資する商工会組織の充実強化に積極的な行動力を発揮され、地域商工業の振興発展に大きく貢献された。

社会功労賞



馴山ヒサさん (80)

昭和43年から21年間の永きにわたり、民生委員・児童委員を務める。その傍ら、昭和54年から10年間標津町社会福祉協議会評議委員を務めるなど社会的弱者の自立・更生の手助けをし、地域福祉の増進と向上に大きく貢献された。

自治功労賞



山本耕一さん (69)

昭和50年標津町議会議員に当選して以来、4期16年の永きにわたり在職。昭和58年から4年間議会選出監査委員を歴任されるなど町行政事務事業全般にわたり公正かつ効率的な監査に敏腕をふるい、自治体経営の健全化に尽力されるとともに本町自治発展に大きく貢献された。



箭浪昇さん (68)

昭和30年標津村議会議員に当選して以来、10期40年の永きにわたり在職。この間、副議長として通算12年間の重職を担い、議会の公正円滑な運営に尽力するとともに議会選出監査委員、建設・産業各常任委員長をも歴任されるなど、幅広い視野と卓抜した識見をもって本町自治の発展に大きく貢献された。

町税三十年間 納期内完納者

・梅田龍英(標津)・小田原鐵雄(川北)・奥谷光男(茶志骨)・奥村春久(伊奈仁)・斎藤勝男(川北)・佐々木正一(茶志骨)・島貫才治

(同)・田村慶司(川北)・西田豊(同)・畑哲浩(同)・平井勇(標津)・宮崎信孝(古多郷)・山崎一郎(忠類)・山口利昭(標津)・渡部勉(伊奈仁)・渡辺春夫(川北)

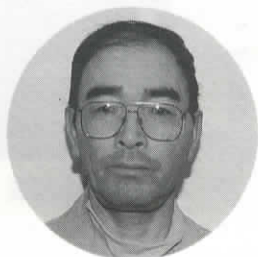
敬称略

優良勤労者



蛸名武士さん (55)

昭和44年より太平洋工業株式会社標津工場に勤務。商品の輸送に従事し、交通安全・事故防止に努めており、上司・同僚の信望も厚く、他従業員の模範的存在として高く評価されている。



前田敏博さん (55)

昭和44年より太平洋工業株式会社標津工場に勤務。商品製造に従事しており、積極的に商品開発に取り組み、その勤勉実直な人柄から同僚にも慕われており、上司の信望も厚く社業発展に大きく寄与している。



高橋和夫さん (55)

昭和44年より株式会社上田組に勤務。重機オペレーターとして常に研究心に富み、困難な状況にあっても適切な判断と卓越した運転技能を以て工事の完成に当たっている。同僚、後輩からも深く敬慕され上司の信望も厚く、他従業員の模範的存在として高く評価されている。

潤いのある 美しいまちに

～ストーリーのあるまちづくり～

「景観ガイドプラン」の最終案を 町民会議で検討

町では二十一世紀の標津町が魅力ある定住地域となるよう「ストーリーのあるまちづくり」を進めています。この重点事業である標津町景観づくりについてその方向性、整備の手法などが

ほぼまとまりました。

標津町の景観づくりの指針となる「標津町景観ガイドプラン」の策定のために、平成五年十二月に「農（あした）を創る町民会議」を組織し検討してきたもので、二十回にわたる会議で出された意見・提案、協議をもとにまとめられました。

景観ガイドプランについては、町内を総合拠点ゾーン（標津市街）、農村拠点ゾーン（川北市街）、沿岸ゾーン（漁業地域）、農村ゾーン（酪農地域）の四つのゾーンに分けて、それぞれ現状の分析と課題が記述され、これ

らと今までの会議での検討をふまえて、今後の景観づくりの目標が示されています。

各ゾーンの目標のサブタイトルとして、昨年町内の小中学生から募集した景観づくり標語の入賞作品が使われています。

プランの中では、景観づくりのモデルとなる重点整備地区を各ゾーンごとに抽出して、シュミレーション写真やイメージ図を利用して、具体的な整備の方向性や手法が提案されています。

〈各ゾーンの整備目標〉

総合拠点ゾーンの目標は「まち全体が公園のように緑でつまれて歩くのが楽しくなる美しい街並みづくり」ということで、グリーンネットワークづくりや、旧根室標津駅跡地、商店街（写真上が街路整備後のイメージ）などの整備が提案されています。

沿岸ゾーンについては「標津の雄大な自然景観を楽しみながら、地元的生活、産業、文化など様々な情報にふれる新しい拠点づくり」ということで、国後島を眺望するポイントの整備、番屋の付近の環境整備などがあげられています。

農村拠点ゾーンは「農村景観との調和を図り、根室大地開拓の歴史を感じさせる緑豊かな市街地づ



今後の取り組みについて、活発な意見や要望が出された町民会議（12月5日、役場会議室）

くり」で、市街地の歩道・街路灯の整備、旧川北駅跡地の整備など、また、農村ゾーンについては「牧歌的な農村風景を際立たせる、グリーンネットワークづくり」ということで、川北と標津を結ぶ白樺並木の造成、農家周辺の環境整備、眺望ポイントの整備などが、イメージ図などでわかりやすく提案されています。

また、町民会議での「町内に公共サイン（道標）が必要である」という意見を受けて「公共サインシステム整備計画」についても今年度、町が策定しましたが、これについても内容が説明されました。町内の自然景観を損なわないよう、なるべく少ない看板で効果的な案内をするシステムと、自然景観にマッチした案内板のデザインや色

〈今後の取り組み〉

などが提案されました。

町民会議では、提案についてはほぼ了承されましたが、「せっかくなので計画なので、広く町民にPRして、関心をもってもらうことが大切だ」という意見や「町民と町、関係機関などが協力・分担して、計画の実現に向けて努力すべきだ」など、今後の取り組みに対する意見が多く出されました。

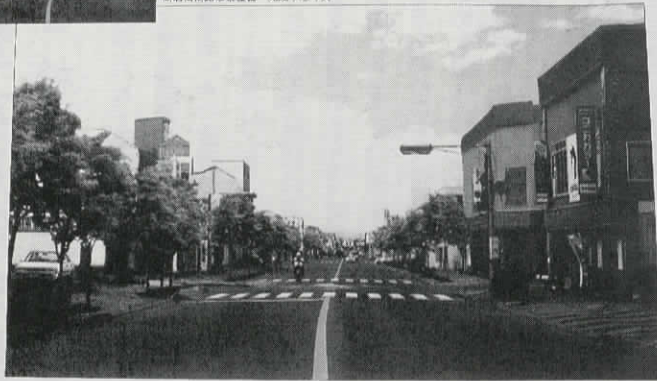
町では、景観ガイドプランのダイジェスト版（ミニ版）を作成して全戸に配布するほか、町民自らが行う景観づくり事業に対する補助制度の創設などを検討して、町ぐるみで景観づくりを進めることにしています。

なお、提案のあった重点整備地区を実際に整備する段階では、さらに十分な検討を行うことが必要ですので、今後も町民の皆さんの声を聞きながら年次計画を立てて実施していく考えです。

現在、整備可能なところから実施していくという方針で、眺望ポイントの整備では、国道二七二号線沿いに一カ所整備が進んでいるほか、農家看板の統一、白樺並木の造成などが行われています。



標津市街路整備後 完成予想写真



提案された標津市街商店街の街路整備後のイメージ写真（上は現在）

「今、本当の

豊かさを求めて」

講師 松岡 義和氏 (市立名寄短期大学教授)

子育て講演会

十一月十八日、町農村環境改善センターで松岡義和氏を講師に子育て講演会「今、本当の豊かさを求めて」が静かに、ゆっくり、上品に。二十一世紀は心の時代(おはなしの会スミミ・町教委主催)が開かれました。会場にはお母さん方を中心に百人余りが訪れ、子育ての大切さを学びました。講演会の要旨を紹介します。

松岡講師の横顔

昭和十三年常呂郡訓子府町生まれ。日本大学芸術学部卒業。主な役職は北海道芸術教育の会長、北海道手づくり絵本の会長ほか。主な著書は「幼児の劇あそび12カ月」「小中学生のための学校演劇脚本集」など。

低次元の文化が氾濫

最近就職の問題についても大変な状況があり、私の勤めていた中学校でも入学時に「家庭環境調査」を行うが、その中に将来はどんな職業につきたいかという質問

に、学級の約八割が市役所職員と書いてあるのにびっくり。

やはり幼いうちから両親が安定した職業がいいと言っているからだと思う。現在は皆、公務員がいいという。やはりそれは子供の責任ではなくて、大人たちが子供の前で辛く苦しいこぼし話ばかりして、全く展望の持てないような未来をいつの間にか描いてしまった。だからテレビ番組の中でも刹那的、瞬間的に今日だけ面白ければ、面白ければいい、そういうお笑い番組が多くなり、人を茶化したり傷つけたりあげ足を取ったりというような低次元の文化が氾濫している。そこに迫ってくるものはやはり文化である。日本列島五〇〇〇年の歴史の中で本当にめまぐるしく変わってきたのはこの十年位の間で、そのかわり失っていったのは人々の思いやりやさしさ、いつくしみ、小さなものやけなげなものを大事にする心など、繁栄していく中でそうしたものを持ってきたのではないか。

その中で、何を考えていかなければならないか。



100人余りが会場を訪れ、熱心に聞き入った「子育て講演会」

家庭での文化の重要性

ればならないか。

まず一つは、食の問題について考えていかなければならない。非常に忙しい毎日の中で生活に追われながら、なかなか子供のためにおやつをつくるのか季節の節目に赤飯を炊くなどという習慣がなくなり一年中、旬がわからないような中で子供たちが育っている。

一方、忙しいときにはインスタント食品というのは非常に助かるが、乳幼児期からはほとんど流動食に近いような食事をしているため嘔吐、咀嚼する、飲みこむということができない子供たちがどんどん増えている。また、コンビニエンスストアもどんどん進出し

ており、まな板も包丁もないような家庭が実際にあるんだということが幼稚園や保育園の先生から報告されている。やはり、少しずつ工夫しながら子供たちの健康的な体力を食文化を通して身につけていく必要がある。

二つ目はやはりテレビの問題。今の子供たちにテレビは絶対に見せないということはできないが三時間のテレビを二時間にすると運動を進めていけば、そのことによって自由で何もしない一時間という大事な時間ができる。テレビが消え、食後で一時間ぼんやり過ごす、「学校で何かあったか」「うん、実はね今日」などという会話が成立するのです。実際に岩手県のある村で、テレビを一時間消す運動を勧めたところ子供たちは一日二時間外に遊びに行くようになり、子供と子供の遊びという人間の付き合いが始まったということも報告されている。

三つ目として、家庭における文化の問題。どういうことに気を配って育てていけばいいのか。それは我が家が憲法を持つことが大事だと思ふ。それはどんなつまらないことでも非常に大切なこと。家庭の中の文化というのは、いろいろな形で両親が生きてきた生きざまを伝えていく、それが重要。

やさしさと愛をベースに

四つめは学校の問題であり、結論的に学力というのは、広い意味で「生きる力」だと思ふ。決して知識を詰め込むだけが学習、学力だとは思わない。

私は現在、芸術教育の会会長をしているが、会では今まで子供たちの豊かな創造性を育てようを合言葉に活動してきたが、ヨーロッパの幼稚園や小学校を視察する中で、日本は物質的にヨーロッパやアメリカをしのぐ勢いで経済的には発展したが、精神的な文化の部分で負けている。

イギリスでは二六〇万人の失業者があり、消費税二五%という経済不況でいながら、ゆっくり、静かに、きわめつけは、上品に、である。消費税二五%払ってでも芸術、文化は世界の人に価値のあるものを見てもらいたいということで、莫大な維持費をかけながら守り抜いている国を見ると、日本の豊かさというのは、やはり物質的な豊かさであって、大事な精神文化を、二十一世紀に向けて、大人も子供も青年も一緒にあって、日本の将来に向かって、やさしさと愛をベースにしながら立ち向かっていかなければならないのではと思ふ。



愛称は 「あすばる」

今年7月オープンの
標津町生涯学習センター

民生・児童委員改選 20人決まる

～お気軽にご相談を～



今年七月にオープン予定の標津町生涯学習センターの愛称が「あすばる」に決まりました。

審査には町議会や農・漁協、サークルの代表など幅広い層の十二人が当たり、全国から寄せられた五千六百二十九点の中から選ばれたのは、福岡県の主婦・平山淑子さん(45)。

明日の「あす」と、英語のバル(PAL・仲間の意)を掛け合せた造語で、「明日に向けて仲間とともに学ぶ」との前向きな意味と、どの世代にも覚えてもらいやすい明るい語感が評価されました。

町教育委員会ではこの愛称を施設に表示し、同センター発信の郵便物にも印刷するなど広く町民にPRしていきます。

任期満了に伴い、標津町民生・児童委員が改選され、二十人が委嘱されました。同委員は、みなさんの生活に関する相談、心身障害者や子供に関する事など困ったこととや心配ごとなどについて相談を受け、関係する行政とのパイプ役として活動するもので、道から委嘱されています。地区ごとに委員がおります(詳しくは折り込みの民協だより「まごころ」に掲載)ので、お気軽にご相談ください。個人の秘密は固く守ります。なお、今回の改選により退任された今井三大さん、川瀬ミサ子さん、千葉元さんには大変ご苦労さまでした。

新しい 町勢要覧 できました



標津町を紹介する新しい町勢要覧がこのほど完成しました。

「ホップ・ステップ・ジャンプin標津」と題し、34ページ(A4版)で編集されており、資料編も合わせて作製しました。

この中では、秋サケ水揚げ日本一ならではのサケの写真がふんだんに用いられているほか、基幹産業の漁業・農業や標津の春夏秋冬の姿、まちの歴史、21世紀を展望した本町が現在取り組んでいるプロジェクト事業などを紹介しています。また、初の試みとして、新町民が標津町の良さを語るコーナーも設けました。

発行部数は5千部。希望者は役場・企画振興課 ☎2-2131内線110まで。

「サケのひれ酒」 を考案

作り方は、ひれを塩漬けにしてぬめりをとり天日で干す。



植野丈夫さん

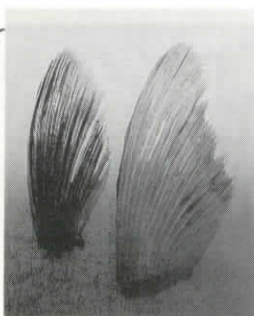
町内で居酒屋を営んでいる植野丈夫さん(51)が、サケの腹ひれを使ったひれ酒を考案しました。

捨てるだけのサケのひれをふぐのひれ酒のように使えないかと、一年ほど前から試作を重ねていたものです。

あぶったひれを入れるだけで、サケのこうばしい香りがします。

お客からは「ふぐと変わらないうまさ」と好評で、近く町内の商店でも販売の予定。

考案した植野さんは、「サケ水揚げ日本一の標津町を少しでもPRできれば」と話しています。



ひれ酒に使われるサケのひれ



忠類小が団体表彰に 輝く 全道発明工夫展

北海道青少年科学技術振興作品展（全道発明工夫展）が、十一月二十三日から二十八日までの一週間札幌市内のデパートで開催され、根室管内を代表して出展した作品のうち、忠類小学校（松原稔校長・児童数七人）の原田美希さん（二年）が出展した「かがみつきはみがきコップ」が特別賞、原田真帆さん（五年）が出展した「よこれ一発！ ガラスクリーン棒」が奨励賞と、姉妹で受賞。また、同校も北海道地域技術振興センター会長賞を受賞しました。

同校は全校生徒が七人という小規模校のため、団体スポーツなどのクラブ活動が難しくなっていることから、平成二年度から児童による発明工夫に関する活動をクラブ活動の一環として取り入れました。

生徒は普段から「発明ノート」を携帯し、良い案が浮かんだときに忘れないようにメモしているという熱の入れよう。その努力が報われ、九月二十六日に開かれた根室地区青少年科学技術振興作品（発明工夫）展では、生徒七人全員が入賞するという快挙を成し遂げています。

同校は「発明工夫に取り組むようになって、児童は自分の生活のまわりの物を見直したり、効率を良くするなど生活関連に目が向くようになり、表現力をつけるという題材にもなっている」また、好成績を上げたことについて「児童の良い励みになっている。本校の特色ある教育として今後もぜひ続けていきたい」と意欲をみせています。

なお、原田さん姉妹の作品は、三月下旬に開かれる全日本学生児童発明工夫展に出展されることになっており、全国での受賞が期待されています。

親子でもちつき

手をつなぐ親の会

十二月九日、町手をつなぐ親の会（渡辺文雄会長の主催により、もちつき大会が町中央公民館ホールで行われました。

参加したのは同会会員の小学生やその保護者、ボランティアなど約七十人。

当日は、もちつき体験のほか、ゲームやエプロンシアターも行われ、昼には自分たちでついたもちを、ぞうにやおしるこ、きなこもちなどにして食べ、楽しいひとときを過ごしました。



元気いっぱいにもちつき 幼年消防クラブ

標津幼稚園（三戸俊雄園長・園児十五人）と川北幼稚園（同園長・園児十三人）幼年消防クラブがそ



れぞれ十二月十二日、十六日に「防火の誓い」を込めたもちつきを行いました。

同クラブは、幼児に対し火遊びの防止や消防の仕事に対する理解を深めてもらい、幼時のころから防火意識を持たせようと結成されたもの。

当日は、黒田標津消防署長から「火遊びは絶対しないように」とあいさつがあり、その後、火の用心のはつぴを着た園児が標津消防署員といっしょに元気よくもちをつき、ついたもちは園児の父母によつてあんこもちにされ、園児たちはおいしそうに味わい、楽しみながら防火についての意識を深めました。

みんなで音楽を楽しむ

標津ミュージックフェス

町内の小中学生や町民が日ごろ練習した器楽演奏や合唱を披露し、町民の音楽への愛着を育てようと十二月三日、町農村環境改善センターで標津ミュージックフェスティバルが開催されました。

出演したのは、小中学校の吹奏学部やママさんコーラスなどによる一団体。器楽やバンドなどによるアニメ主題歌やポップスの演奏をはじめ、合唱、太鼓さらに全道コンクールで好成績を残している川北中学校吹奏学部などが次々に曲を披露し、会場に詰めかけた約二百五十人の聴衆から盛んな拍手が送られていました。



世界でも活躍

全日本空手道連盟標準津支部

十一月十九日にフィリピン・マニラ市で行われた、国際少年少女空手道選手権大会に出場した(財)全日本空手道連盟弘道会標準津支部(早川弘三支部長・会員百二十人)の本町選手六人が帰町し、二十二日、町に報告を行いました。

開催国のフィリピンをはじめ、タイ、マレーシアなど、十カ国から約三百人の少年少女が出場したこの大会では、数間充くん(川北小二年)が個人戦型で優勝、佐々木孝君(標準中一年)が個人戦組手で三位となった。そのほかの選



手もそれぞれ四位から六位までに
入る好成績。

町役場を訪れた六選手に小田桐町長は「日ごろの練習の成果が実を結んだ。標準の名誉といえる。今後目標をもって一生懸命頑張ってください」とたたえました。世界チャンピオンとなった数間充くんは「優勝できてうれしい。これから一生懸命がんばります」と笑顔で話してくれました。

気合いも鋭く

防犯少年剣道大会

町技に指定されている剣道を通して健全な青少年を育てることを目的として、十二月九日、町防犯協会(川畑二郎会長)の主催による第十四回防犯少年剣道大会が町鳩ヶ丘体育館で行われました。大会には、親子合わせて七チー



ム、八十人が出場。

会場は、応援にかけつけた父母らの声援や「メーン」「ドー」と気合いの入った元気な声が会場いっぱいに響きわたっていました。

さわやか農村環境 コンクールで優秀賞



西 廣志さん



山下良雄さん

十一月二十二日、根室市で開かれた第二回根室さわやか農村環境コンクールで本町の山下良雄さん(西北標準)と西廣志さん(北標準)が優秀賞を受賞しました。

同コンクールは、環境と調和した農業と酪農地域の豊かな自然を生かした農村環境づくりを推進しよう、根室支庁管内営農指導対策協議会の主催で昨年から実施しているもの。

環境づくりについて、山下さんは「環境を整備することによって、仕事の能率が上がる気がする」、西さんは「普段から目に見えないところからきれいにするように心掛けていく」と話しています。

サケ豊漁、格安で還元

豊漁感謝祭

漁業者自らでつくる町サケ・ホタテ消費流通対策協議会(戸田雅彦実行委員長)による、新鮮な秋サケやマス、ホタテを原価提供する「豊漁感謝祭」が、十一月二十五日、標準津漁港で開かれました。

町民に還元しようと昨年に引き続き開催されたこの感謝祭。中でも主に加工用にまわるBブナの雄サケをおろしたものが人気を集め、「自家製とば用に最適」(同実行委員長)とあってか、一枚百円という格安の切り身約一万本分があったという間に売り切れ。

また、十二月から漁を始めたホタテのほか、標準津産屋敷、加工品の販売、漁協婦人部のあきあじ鍋サービスなどに、会場は賑わいを見せていました。



下り車線にロードヒーティング

ティンゲ 国道272号終点

国道272号の終点(太平洋レミコン標準工場前、太平洋石油前交差点間、延長二百四十九m)の下り車線がロードヒーティング化され、十二月一日から運用開始されています。

国道272号は、根室市と羅臼町を結ぶ国道244号とのT字形交差点に向かって約七%の下り勾配になっており、冬期間は根室海峡から吹きつける風で路面はアイスバーンになることがたびたび。坂の中央付近は役場、公民館などに通ずる町道西二条との交差点もT字形になっており、スリップによる接触事故が目立ったことから、町では鋼路開発中標準道路維持事務所にロードヒーティング化を要望。同事業所でも、スタットレスタイヤでは勾配四%以上は危険と判断、一昨年十二月から昨年三月末まで工事が行われました。



新春

ウルトラクイズ!?

みんなの広場

すてきな賞品が
10名に当たる!

■あて先 標津町字標津3-5 役場広報統計係内
新春ウルトラクイズ係まで
正解者のうち、抽選で10名の方に贈答用としても人気の「銀のシリーズ・サケ缶詰セット」(6個入り)と「サケのかぶと煮」(2パック)をプレゼントします。

標津町に関する問題です。
次の○に数字や文字を入れてください。

Q1 面積は?

○○○.38km²

Q2 位置は?

東経 14○° 15'
北緯 ○3° 28'

Q3 町民憲章の制定年月日は?

昭和○○年11月3日

Q4 町の花・木は? 町技は?

町の花 ○○○○
町の木 ○○○○○
町技 ○○

Q5 北方領土・国後島との距離は?

2○ km

Q6 サーモン科学館の平成6年度
の入館者数は?

11○,401人

(平成6年4月～平成7年3月)

Q7 昨年の忠類川サケ・マス釣獲
調査でのサケの釣獲結果は?

○,290匹

(Q7ヒント: この広報「しべつ」に載っているよ)

時事川柳

初春は 丹頂の朱 麗らかに	布施 惣一郎
ぼやくなよ きつと良いこと ある世来る	〃
朝帰り ちよつと聞きたい 事がある	〃
教え子の 合格願う 初もうで	今泉 順一
元日に 賀状待ちわび 友を思う	〃
七草の 覚えし草名 ポケ防止	〃
親の世話 ほつびに 嫁の一番風呂	太田 明人
初日の出 しあわせ来るよな 色だった	〃
年初め 今年こそはと 意気込むが	木枯 紋次郎
お正月 過ぎればすぐに 大晦日	〃
初詣出 願いつばい 銭わずか	北風 雪々心
サンタさん こなくなつたら 風呂二人	小学生の娘の父
どぶ池に 政治家飛び込む 汚泥の音	良 寛
除夜の鐘 昨夜の音は 官々と	反省 ギル
子たくさん 正月くると いやがられ	三人 兄弟
心地よい 法悦にひたる 報恩講	戸村 寿生
楽隠居 ポケの予防と バチンコへ	〃
胃力メウで のぞく胃の中 グロテスク	〃
お年玉 子らあったけの 笑顔見る	岡部 清治

ご意見・感想、時事川柳など

お寄せください

このコーナーでは、町や広報紙に対するご意見や要望、感想などをお待ちいたしております。(ただし、人や団体の中傷となるもの、ご遠慮ください)

皆さんの声のページとして、お気軽にお便りをお寄せください。(本人の希望により匿名も可)。また、時事川柳やイラストなども募集しています。

あて先

標津町字標津3-5

役場広報統計係「みんなの広場」コーナーまで。

申告

申告関係書類は お早めに提出を

平成7年分の申告関係書類及び平成8年償却資産申告書、牛の頭数調べ（農家の方のみ）の提出期限は1月31日となっておりますので、期限厳守の上提出願います。

★提出先及び問い合わせは、役場税務課税務係（☎内線116・117）まで。

防災

お出かけ前には 防火のチェックを

年始は留守にする機会が多く、毎年各地で悲惨な事故が発生しています。

お出かけ前には必ず防火のチェックをするよう心がけてください。

■コンロの元栓やストーブなどの電源プラグをコンセントから抜きましょう。

■ストーブなどをタイマーによって点火させる場合は周辺に燃えやすい物がないかを確かめ、セットを正確に行い、点火時間を考慮して帰宅を。

■子供や老人だけを残しての外出はやめましょう。

■長時間留守にする場合は、知人や隣近所の人に一声かけてから出かけるよう心がけましょう。ー標津消防署ー

野犬

野犬掃とうを 実施します

■実施期間 1月10日～3月31日

■実施地域 町内全域

■実施方法 捕獲及び薬殺

★詳しくは、役場住民課環境衛生係（☎内線130）まで。

郵便局

郵便局からのお知らせ

■各種お祝いメッセージとして好評を得ているレタックスは、手書きの文字やイラストをそのままスピーディーに送ることができます。金額は文字数に関係なく一枚580円。配達を希望する日の3日前までに与えられると470円とお安くなります。また、花束やお金を一緒に送れるレタックスもありますのでご利用ください。

■郵便物を確実にお届けするために、表札をお願いします。

忠類川・マス釣獲調査

サケ4,290匹・マス2,170匹
～忠類川釣獲調査状況～



～月別釣獲調査結果～

月	従事者数	サケ	マス
8	682人	3匹	834匹
9	1,953	1,921	1,289
10	1,319	1,361	47
11	393	556	0
12	93	449	0
計	延べ4,440	4,290	2,170

※8月は調査開始（8/11）から12月は調査終了（12/10）までの数字

寄付ありがとうございました

●町社会福祉協議会にー

香典返しをやめて

・竹本末三さん・桜井正子さん
活動資金として

・西山吉二さん・聖友標津支所
・日本詩吟学院奥根支支部川北龍吟会担当師範 小原岳龍さん

●中央公民館図書室に本をー

・込堂敏安さん

●はまなす苑にー

・弥栄町内会婦人会・木下球枝さん

津波のときの

「避難場所」の 再確認を！！

いざというときに備えて普段から防火チェックを行い、家族で話し合いをしておきましょう。

地 区	避 難 場 所
標 津	ベ キ シ リ 山 望 ケ 丘 森 林 公 園
浜 茶 志 骨	タ ブ 山
忠 類	忠 類 墓 地
伊 茶 仁	伊 茶 仁 ふ 化 場
浜 古 多 糠	浜 古 多 糠 神 社 高 台
薫 別	薫 別 川 左 岸 高 台
崎 無 異	崎 無 異 神 社

町内の交通事故

人身事故	3人（17）
負傷者	4人（21）
死亡者	0人（2）
物損事故	18件（197）

（11/16～12/15）（ ）※累計

役

場

☎ 2 - 2131 (代表)

融資

恩給や年金でまとまった資金が利用できます

国民金融公庫では、次のとおり恩給・共済年金の担保貸付などを行っています。

■融 資 額 一人250万円

(年額により制限あり)

■利 息 年3.15%

■利用できる方

恩給、共済年金、災害補償年金、厚生年金、船員保険年金、労災年金、国民年金(老齢福祉年金を除く)などを受けている方

■担 保 恩給等年金証書

■保 証 人 1人以上(連帯保証)

★お問い合わせは、同公庫釧路支店(☎0154-228131)まで。

スポーツ

☆ 1月のスポーツ☆

5日(金)

▷第20回新春スプリント大会

[9時30分~町営リンク]

7日(日)・14日(日)・21日(日)

▷スキー教室

[10時~金山スキー場]

14日(日)

▷高校選抜バレーボール北海道大会管内予選会

[9時~総合体育館]

15日(日)

▷基礎スキー講習会

[10時~金山スキー場]

20日(土)~21日(日)

▷標津町バドミントン総合選手権大会

[9時30分~総合体育館]

28日(日)

▷町バドミントン交流会

[9時~総合体育館]

30日(火)~31日(水)

▷レディーススキー教室

[時間未定~金山スキー場]

健康相談・健診日程表

〈1月分〉

※農改センター……

農村環境改善センターの略

乳幼児

■乳幼児相談

22日(月)〈標津〉

[9時30分~10時30分・13時30分~

14時30分/農改センター]

※午前の子 10・13カ月児、午後の部

4・7カ月児対象

24日(水)〈川北〉

[13時30分~14時30分/川北公民館]

※4・7・10・13カ月児対象

■歯ピカ教室

16日(火)・17日(水)

2月5日(月)・6日(火)

[9時30分~10時30分、13時30分~

14時30分/農改センター]

成 人

■一般健康相談

8日(月)

[10時~11時30分/薫別集落セン

ター

[13時30分~14時/崎無異中野さん宅]

26日(金)

[13時~16時/役場相談室]

2月2日(金)

[13時30分~15時30分/茶志骨パイロット]

妊婦

■ママスクール

12日(金)・19日(金)・26日(金)

2月2日(金)・9日(金)

[13時~15時/農改センター]

※2月分については、9日までの予定について掲載しています。

★お問い合わせは、役場福祉保健課

(☎内線129・131・138)までお気軽に。

ごみの収集日

曜 日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有 料〉	不燃物収集日 (無 料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	1月8日・1月25日 (月) (木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	1月9日・1月26日 (火) (金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	1月10日・1月24日 (水) (水)
		2月7日 (水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

国民年金

月々の積み立てが 将来の蓄えとなります

～みんなが加入し、みんなで支える
国民年金シリーズ⑦～

昭和34年に国民年金制度が発足以来、国民年金は国民の生活にとって重要な位置を占めるようになりました。

現在当町において国民年金に加入されている方は2,209人おり、1,343人が年金を受給しています。また、その受給額は791,890千円で、町予算の1割に達する勢いとなっています。

国民年金は、月々の積み立てが将来の蓄えとなります。

平成8年も国民年金制度に一層のご理解とご協力をお願いします。

★相談・問い合わせは、役場住民課国民年金係（☎内線130）まで。

戸籍手数料の改正

戸籍手数料が、次のとおり平成8年1月1日より改正されましたのでお知らせします。

申請内容	手数料額
① 戸籍の謄抄本	1通 450円
② 除籍の謄抄本	1通 750円
③ 戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 350円
④ 除籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件 450円
⑤ 届出・申請の受理又は届書、その他の書類の記載事項の証明書	1通 350円
⑥ 上質紙を用いた受理証明書 (婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁又は認知の届出)	1通 1,400円
⑦ 届出その他の書類の閲覧	書類1件 350円

水道給水の凍結にご注意を!!

一役場・上下水道課から一

●水道水の凍結防止方法

お出かけ前・就寝前には、はじめにすべての蛇口（カラン）を全開（水をだしっぱなし）にし、水抜き栓のハンドルを完全に閉めて水が抜けるのを確認してください。

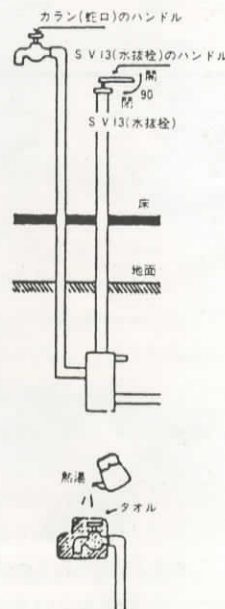
●水洗トイレの凍結防止方法

トイレ内に水道の元栓がある方は、台所の元栓と一緒に閉めることを忘れずに。就寝前や日中留守にする方は、ロータンのレバーを「大」の位置で止めタンク内の水を抜くことを忘れずに。

★もし凍ったときは――

蛇口にタオルや布切れをまいて熱湯をかけてください（水抜き栓のパイプ部分は凍りませんのでかけないでください）。それでも水が出ないときは、役場または下記の業者へ連絡してください。

- ▶大標設備工業(有) ☎2-3332
- ▶出口設備(有) ☎2-2479
- ▶更谷商会 ☎5-2036
- ▶奥商会 ☎5-2021



イベント情報

'96 ナイト・イン川北 冬のつどい



冬の寒さを吹き飛ばす楽しい
イベントでいっぱい!!

■とき 2月17日(土)

■ところ (株)上田組球場

■主催 '96 ナイト・イン川北
冬のつどい実行委員会



後ろに荷物をたくさん乗せて今日一日の観光ルートを燃料タンクの上につけているバックの表に地図を広げて、目的地へと走っていく光景

出発の日から天候が悪く十日間カッパを着ない日はないというほど雨にたたられました。また、今までフェリーに乗ったのはせいぜい函館、青森間しかなかったのに三十時間以上もの乗船の旅を経験。一日中船のエンジン音を聞きながら何もすることがなく、ただゴロゴロしているだけ。船酔いこそ一度もなかったものの、上下に船体

この厳しい冬が過ぎ北海道にも春、そして夏の観光シーズンが始まる季節には、道内はもちろん、日本全国からオートバイで旅行を楽しむライダー（ミツバチ族）が道東を旅してこの標津町にもやってきます。

を何度となく見ていると、自分も同じように五年前オートバイの旅を思い出します。中でも二十二日間、中国、四国、九州、沖縄まで途中フェリーを八回乗り継ぎ、延べ四、〇〇〇キロの旅が一番印象に残っています。



奥 雅彦さん（共栄町）
＝奥商会勤務＝

『旅の思い出』

が波で揺れながらではさすがに食欲もあまり進まなかったように記憶しています。

長い時間揺れながら港へ着いては走り出し、雨が降ってきたと思ったら、止まってカッパを着ての繰り返しだったが、十月とはいえ降りしきる雨の冷たさは感じられず、南へ向かうほど汗ばむほどでした。もちろん沖縄では天候に恵まれ、ほとんど半袖で走り回っていました。

そんな旅先で次の目的地を地図で検討中、オートバイのナンバー（釧路ナンバー）を見るなり「北海道の方ですか？」と話し掛けられたり、フェリーを待っている間にパンと牛乳、地元新聞をくださった方とか、多くの方々から言葉をかけていただき楽しい旅をしてきたことが今でもよみがえります。

この魅力ある道東の観光を見て行くライダー達も、たくさん思い出をつくって行くんだろ

うなあとと思います。



次の「まちの声」は、古多糠の金井哲雄さんです。

編集のまど

▷あけましておめでとうございます。1年というのは早いものですね。毎月の原稿の締め切りがあるから、なおさらかもしれません。▷昨年の1月号のこの欄を見たら次のことが書いてありました。「これからは、行き当たりばったりの記事を見直し、広報の原点を考え、少しでも良い広報紙を出せれば…」▷そこで1年間を振り返ってみると、実行できたのだろうか？やはり広報は難しいものだ、とつくづく思うようになりました。▷広報を担当している間に一つでも何か良いもの残していこうと今年も前向きに頑張ります。そのためには、みなさんのご協力が不可欠です。どうぞよろしくお願いします。（ひ）

戸籍の窓口から (11月11日～12月10日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
室谷 洵くん	若草町	室谷 文男・優子
久保田泰充くん	川上町	久保田 博・真澄
細川比奈子ちゃん	栄町	細川 明宏・玲子
齋藤 彩乃ちゃん	緑町	齋藤 芳秀・早苗

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
島貫 雅隆さん	清原由美子さん	東茶志骨
江嶋 力さん	川村 洋子さん	緑町
坂野 尚行さん	佐々木祐子さん	緑町

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
武田 政男さん	新古多糠	83歳
竹本ヨシ子さん	寿町	72歳
櫻井 勇さん	寿町	63歳

人のうごき

人口	6,786人（－19）
男	3,295人（－10）
女	3,491人（－9）
世帯数	2,326世帯（－3）

※平成7年12月1日現在（ ）は前年比